

2010年度

科目名	心理学特講Ⅱ		
担当教員	熊野 道子		
配当	教福3	コード	52420
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて「今、日本の家族は？」「家族の未来は？」を考える。		
目的と概要	保育や教育の領域で、その対象である子どもの理解だけではなく、子どもを取り巻く家庭、子どもの養育を担う親の心理や機能についての理解も必要である。この授業では、家族・夫婦・親子についての実証的心理学研究に基づいて、家族にどのような変化が生じているのか、それはなぜなのか、変化の背景にある社会的状況などを理解することを目標とする。		
成績評価法	試験と平常点により総合的に評価します。		
テキスト	柏木恵子・大野祥子・平山順子(著)「家族心理学への招待」ミネルヴァ書房(2006)		
参考書	必要に応じて授業の中で紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族とは何か (1) 現代日本の家族、家族の起源・進化・発達、家族の成立</li> <li>2. 家族とは何か (2) 日本の「近代家族」の歴史、多様な家族</li> <li>3. 恋愛・結婚・夫婦 (1) 恋愛・パートナー選択、結婚の意味・価値</li> <li>4. 恋愛・結婚・夫婦 (2) 結婚＝夫婦は幸せか？、家族生活を営むということ</li> <li>5. 恋愛・結婚・夫婦 (3) 家計と夫・妻の心理、子育て期の多重役割</li> <li>6. 恋愛・結婚・夫婦 (4) 夫婦のコミュニケーション、定年後の夫婦</li> <li>7. 子ども・親子の関係 (1) 人類の親子、子どもの価値</li> <li>8. 子ども・親子の関係 (2) 人口革命、「つくる」時代の親と子</li> <li>9. 子ども・親子の関係 (3) 子育て不安、育児期家族にとっての夫・父親</li> <li>10. 子ども・親子の関係 (4) 家庭内暴力、母親の就労と親子の絆</li> <li>11. 子ども・親子の関係 (5) 父親と母親、親としての発達、いろいろな養育のかたち</li> <li>12. 子ども・親子の関係 (6) 中年期の親と青年期の子ども、老年期の親と中年期の子ども</li> <li>13. 「家族」再考 (1) 家族をとりまく物的環境、家族を支える制度・政策</li> <li>14. 「家族」再考 (2) 今改めて「家族」とは何か？、家族の発達</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			